

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2297200152 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム浜松根洗 | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市北区根洗町738-2 | | |
| 自己評価作成日 | 平成29年6月30日 | 評価結果市町村受理日 | 平成29年7月26日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kami=true&JigyosyoCd=2297200152-00&PrefCd=22&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 平成29年7月11日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の穏やかな生活を送っていただく為に、その方のお気持ちに寄り添いながら、ご利用者様の力を最大限生かせるよう支援しています。また、自立や介護予防に前向きに取り組み、入居後には生活・身体レベルの向上や、周辺症状の緩和へと繋がり、介護度が軽度になられた方が多くいらっしゃいます。医療面では、かかりつけ医を選択していただく事で、健康管理が行き届き、ホームでの看取りも可能となり終の棲家として一歩を踏み出しました。7月からは健康サロンの開催を予定しており、地域へ貢献するとともに、地域住民の方とのつながりを深め、地域に根ざした事業所を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

初詣、花見、いちご狩り、うなぎパイ工場、納涼祭、根洗神社の秋祭り、フラワーパーク、回転寿司、芋ほり収穫祭、クリスマス会、園児交流会etc.と年間行事が目白押しで、廊下に連なる思い出写真には笑顔が躍っています。2階はそれぞれが意思をもった動きと居場所を確保していて、1階は「一緒にいる、おこなう」が自然に成り立っていて、それぞれに特徴はありながらも「利用者がその人らしく、ありのままに」暮らせていることが表情や言動から伝わります。車いすの利用者も「2」となり颯爽と自走するに至るほど、立てつづけに介護度が上がる状況が続いていることが、「観察と寄り添いによる生活リズムの調整チカラ」を裏付けています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|---|--|--|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念は朝礼時に唱和し、毎日の行動指針として取り組んでいる。穏やかな生活を営んでいただけるようご利用者様の言葉や行動の裏には、どんな思いがあるのか創造し、考える姿勢を身に着けるよう促し、実践している。 | 管理者と介護支援専門員が各ユニットの計画作成担当者を兼務し、「穏やかに暮らす」ことを念頭においた介護支援計画書を作成し、職員がサービス実施表で確実な実践につなげることで、理念の実現が叶っています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 散歩時には、近隣の方とあいさつも気軽にかかわられ、地域交流委員会を中心に、近隣の施設や学校、幼稚園とのつながりも定着してきている。 | 地域とのつながりづくりを検討していたところ、介護予防を推進するロコトレサロンを浜松市の許可を得て運営することになり、今後の展開に期待が膨らんでいます。畑の地主さんには苗を届けてもらえたり、根洗学園の園児訪問もあります。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域包括支援センターが主催する情報交換会での支援の取り組みの様子をお伝えしている。また、今後健康サロンとして、地域住民の方を施設へと招き、その中で認知症の方の理解が深めていただきたいと考えています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 活動報告や支援の様子をご報告させていただいている。水災害時の対応において、地域の方からのアドバイスをいただき、水害時の避難計画にも反映させていただいた。 | 隔月開催を重ねてメンバーには会議の外でも応援を受けています。今月から始まるロコトレの参加者については、高齢者相談センター(地域包括支援センター)と民生委員の応援を以て、あっという間に15名が集まり、またシニアクラブにも銭太鼓のボランティア紹介を得ています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 行政が主催する北区事業者情報交換会に出席し、情報収集に努め、運営推進会議を通じて事業所の取り組みをお伝えしている。 | 運営推進会議の担当が区役所から市役所介護保険課に移行したことで出席回数が減り、顔を合せる回数は減ったものの会議録は必ず郵送し、また行政が主宰する情報交換会にも積極的に参加して、情報共有に努めています。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束や虐待防止に向け、3か月に一度研修を行っている。日頃の支援の中で、身体拘束と考えられる行為はないか振り返り、話し合いを行っている。玄関を施錠はされていないが、施錠をすることでご利用者様に与える影響について、理解を深めるよう努めている。 | 2ヶ月に1度、身体拘束虐待チェックシートを用いて、気になる職員があれば個別面談をおこない是正を図る仕組みがあります。年1回は勉強会でおこない、現在身体拘束が必要な症状の人もいません。職員のスピーチロックはやや気になるとのことですが訪問時にはありませんでした。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 年間の研修の中で、学習している。2か月に一度、身体拘束や虐待・不適切なケアが行われていないか、チェックシートを用いて、虐待や身体拘束を未然に防止するよう努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 年間の研修の中で、学習している。実際に活用をされている方や、ご家族様からご相談をいただいたこともあった。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約締結時には、時間をかけてゆっくりとわかりやすいよう説明している。読み合わせや都度、疑問点を尋ね、納得していただいた上で締結している。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年に一度ご家族様に向け事業所での取り組みを評価するアンケートを実施している。そのご意見をもとに課題を抽出し、改善へ向け取り組んでいる。また、ご家族様来訪時には、管理者やユニットリーダーなど、会話する機会を持ち、意見や要望の収集に努めている | 法人で年1回取組むアンケートで挙げた要望は、速やかに改善しています。毎月便りも送付しており、月1回は必ず実施する事業所行事に参加くださる家族もいます。運営に踏み込んだ意見は届いていませんが、利用者本人に係る要望は伝えてもらえていて良好な関係にあります。 | 事業所行事に参加するのは希望する家族のみとのことですので、今後は便りに組入れ、広く募るとなおります。 |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員の意見や提案に耳を傾け、実践の向けてサポートをしている。また、年1回スタッフに向けたアンケートを実施し、意見をもとに課題を抽出し改善に向けて取り組んでいる。 | 「本社からの伝達の内容がわかりづらい」「他の事業所のことを知りたい」といった様々な意見が挙がっていますが、口頭説明や掲示、回覧で都度応えています。会話量が偏らないよう、退出時の機会を利用する管理者からの声かけも心掛けています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 面談を通じて、個々の目標の把握や、自身の持ち味を生かし、やりがいに繋げていくことができるよう努めている。また、業務を見直し労働環境の改善に努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新卒・大卒の職員へは、本社教育研修課の研修を受け、1年後、3年後の研修も実施されている。中途採用の職員へは、内部研修を実施している。法人外の研修の機会が少ない為、今後の課題となっている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 職員が同業者と交流する機会は、近隣の施設の夏祭りに参加することとまっている。今後相互訪問の機会を持ち、サービスの質の向上に努めたい。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービス導入時には、情報をもとに1日でも早く環境に慣れていただけるよう、不安な事はないか気を配り安心して過ごせるよう関わりを多く持つよう努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様の要望や、今までのご利用者様の様子に耳を傾け、ご家族様が気兼ねなく相談しやすい雰囲気、関係作りに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 初期においては、まず環境に慣れていただく事に重点を置くと共に、その方の生活リズムに添いながら、安全面にも配慮している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 生活の場として、ご利用者様が主体である考えを持ち、その方の能力が最大限に生かせるよう支援方法を模索している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様の思いを受け止め、一緒に課題に向き合っていたりけるよう支援方法を相談させていただき、プランへと反映させていただいている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人様の言動から、馴染みの場所への外出やドライブへとお誘いし、思い出の場所が身近に感じていただけるよう努めている。 | ミッケルアート(回想法の一種)で会話が弾んだり、以前からの趣味である将棋を職員相手に指す人もいます。また、ミッケルを3Dとした職員手作りのノスタルジックなドールハウスも見事です。外出は職員も手助けしてはいますが、主には家族が外食に連れだしたりしてくれています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 共用スペースでの座席や、ソファでの着席の際には、ご利用者様同士が自然と会話を交わされ、活動に参加していただけるよう、ご利用者様の個性にも配慮している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|--------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去された方へは、ご面会に伺わせていただいたり、退去後ご逝去され、ご利用者様のご家族様から、ご連絡をいただくことが多く、葬儀に参列し最後のお別れをさせていただいている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 直接ご本人へ思いや希望を確認させていただいたり、表情や仕草、会話の中から思いをくみ取りよう努めている。把握が困難な場合はご家族様に意向の確認や、ご本人の立場になりお気持ちを創造するよう努めている。 | 生まれ育った根洗のマップを模造紙に作成し、廊下を1往復したら1つシールを貼るリハビリを実施したり、毎日の体操に参加カードを用意して実践証明の判子を事務室でもらうようにして階下まで歩行するよう仕向けたりと、自己有用感を図りつつのケアに秀でていきます。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族様や、入居前のサービス事業所から生活に関わる情報の収集をお行い、自身の生活ペースに近づけるよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | その方の認知面・身体面の把握に努め、その方に応じた過ごし方・活動へとお誘いしている。ご本人が得意な事に着目し、継続できるようサポートしている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護記録での本人の様子や、サービス担当者会議にて意見やアイデアを収集し、穏やかなお気持ちでいきいきと生活していただけるよう支援方法を検討し、計画に取り入れている。ご家族様面会時には、現状をお伝えし、ケアの方針を話している。 | 居室担当者が気づきシートで本人が困っていることなどを洗い出した後、カンファレンスに臨むという形で職員のチームケアへの参加が成され、計画作成担当者として介護支援専門員が介護計画書に仕上げています。 | サービス担当者会議に家族も参加できると、なお良いと思います。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の気づきや実践結果を介護記録へと記入し、計画の見直しに反映させている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご家族様より、施設をもう一つの家と捉えてくださり、最期をホームで過ごしたいとの要望も窺え、看取りケアを開始しました。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | その方に合わせた地域資源の活用を実践している。社協が開催する講座に参加したり、近隣の障害者施設が運営するカフェに出かけるなど、豊かな暮らしへと繋げている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 従来の往診医に加え、訪問診療を取り入れ、ご家族様が希望する医療に添えるよう、かかりつけ医を選択していただいている。医師と連携を密に図り、必要であれば、総合病院への受診や、専門の機関への受診へと繋げている。 | これまでは全員が月1回訪問診療のある協力医でしたが、月4回(受診は2回/人)訪問くださる医師に12名が切り替えていて、細かに診ることでの安心感を家族と職員に与えてくださっています。また、これまで懸念されていた訪問看護事業所との連携も先月から始まり、重ねて安心です。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週1回の訪問看護師による健康管理を行い、介護職も日々の気づきを伝え、看護師からの異常の懸念がある時は、医師へと報告し、指示を仰いでいる。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病状の説明の際には、管理者が同席させていただき、早期にホームでの生活が可能となるようご家族様や相談員との連携を図っている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 訪問診療を導入した事により、終末期において、ホームでの看取りも可能となっている。重度化が顕著な場合は、早期にご家族様のご意向を確認・相談し、あらゆるパターンを想定しながら、ご本人様やご家族様が希望する終末期を迎えられるよう取り組んでいる。 | 訪問診療で毎週事業所に足を運んでくださる医師が看取りにも協力的で、初めての看取りも無事おこなうことが出来ています。「馴染みの人に囲まれて旅立って欲しい…」と家族も望んでいるため、職員は悲しみや寂しさを越えて使命感を持ち取組んでいます。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時や事故発生時の対応を研修に取り入れ、周知を図っている。消防によるAEDの使用法の指導を受け、訓練を実施している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 近隣の施設や、地域の方に防災訓練へと参加していただき、協力を得られるよう関係を構築できるよう努めている。地域の方より、災害時は施設を避難場所として開放して欲しいとの要望も受けている。 | 年2回の法定訓練のうち1回は夜間想定でおこなっています。各居室扉には「杖」「車いす」「ひと」のイラストをラミネート化させて表示し、親しくつきあう近隣の障害者施設ケアホップの皆さんにも理解してもらい、有事には避難を手伝ってもらえるようにしています。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 敬意を払う気持ちを忘れず、職員の表情や声かけの仕方が、その方に大きな影響を与える事の認識を持ち、基本的に敬語を用い口調にも配慮している。 | 長後定元にある小さなゴミを気にかける利用者に「私がこぼしちゃったかな」「お掃除の時間にきれいにするからね」といった意味合いのことを伝えながら、優しく拾う姿を視認しました。過去には一時期愛称で呼びかけることが蔓延しかけたことがあり、急ぎ止める様に指導したこともありません。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 意思表示ができる方には、自己決定を促し、思いを表出されない方には、会話の中や表情や仕草から希望をくみ取れるよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご自身のペースや生活リズムの添い、自然と活動や家事に参加していただけるよう支援している。また、ご家族様の要望も踏まえた過ごし方の支援に努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | その方が気が付く所のクリームやブラシを設置したり、ご自身で衣類を選択が可能なお方には、選ぶ楽しみもサポートできるよう努めている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事準備はご利用者様の認知面や意欲に合わせ、協同して準備や片付けを実施している。 | 系列の他法人から派遣された調理師が買い物から献立づくりまで請け負い、おしぼりやランチョンマットとともに毎食手作りの食事が提供されています。畑での収穫を利用者も楽しみ、大根、ジャガイモ、さつまいも、らっきよも食卓に並び、話材にもつながっています。 | 専任の調理師がいることから皮むき程度の手伝いに留まることもあり、鉄板を使うなどしたイベント食を意識的に入れていくなどお良いと思います。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人一人の健康状態や採血結果をもとに、食事量の調整やバランス、食事形態に対応している。また、可能な限り自力摂取を促し、ご自身のペースで食事をしていただけるよう努めている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアは実施されていないが、入床前には、その方に応じた口腔ケアを実施している。また、訪問歯科と連携を図り、口腔内の健康に配慮している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄パターンを観察し、適切なタイミングを図り誘導したり、できる限りトイレでの排泄に繋がられるよう努めている。 | 家族の金銭的負担も踏まえ「布パンツでいてほしい」との想いから「できる限りリハパン、パッドは使わない」よう努めています。チェック表をつけ、リズムを掴むとともに、しぐさや表情から読み取り、パッドの数も減らしています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | リハビリ体操や散歩など、運動を積極的に取り入れ、便秘予防に繋がっている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴日については、週2回は入浴していただけるよう配慮している。時間帯については、希望の時間に添う事がなされていないが、その日に気分に合わせて、希望に応じている。また、ゆっくりと入浴されたい方には、通常の間以外に対応している。 | 一面から脚を入れる一般家庭の浴槽のため、A DLが下がるとシャワーチェアと足浴を利用した入浴方法となります。スケジュールとしては午後としていますが、「午前中にゆったり入りたい」という希望にも応じ、「こうしたい」「あしたい」に応えています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | その方の生活習慣を大切にしながら、一人の時間を確保したいご様子を感じとり、居室にて休息される際はさりげなく見守っている。また、日中は活動的に過ごしていただき、夜間の安眠へと繋がっている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | その方の内服されているお薬の理解に努め、内服薬の変更がある時は、副作用について周知を図り、状態の変化がないか注意深く観察している。また、服薬マニュアルに沿った、適切な服薬支援に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 趣味の継続や、外出支援など先々の楽しみとなっていたり、行事を計画している。また、日常ではその方の力を最大限引き出し、役割を担う事で意欲的に生活していただけるようサポートしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 散歩へはその方の希望に応じて対応している。また、日常の会話の中から、ご本人が望む場所出かけられるよう支援している。 | 花見、いちご狩り、うなぎパイ工場、フラワーパーク、回転寿司とドライブ外出が盛りだくさんで、また誕生日には個別に「その人が行きたい」「好きそうな」場所に出かけていて、例えば乗り物が好きな人は自衛隊の広報館の他、さわやか(ハンバーグ)、ウオットを巡っています。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご自身での金銭管理が困難な為、ほとんどの方が施設にて管理している。ご利用者様の中には、自身の財布を持たれ、受診時にはその財布から支払われることもある。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族様の希望もあり、定期的に電話でのやり取りをされている方もいる。年末には、年賀状をご家族様宛に書いていただいたり、困難な方には、職員が代筆し、お気持ちがお伝えできるよう支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有スペースには、ご利用者様の季節に応じて制作された作品を掲示し、季節感や充実感を感じていただいたり、意欲を引き出すきっかけ作りにも繋がっている。 | 風が直接あたらないようにエアコンに工夫が成されていたり、空気の入替えに窓を少し開けたりと、こまめな環境管理がおこなわれていることを確認しました。折鶴壁画や管理者手作りの吊るし雛、観葉植物が置かれ、家庭的な雰囲気の空間です。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 座席の配置など、ご利用者様同士が調和を図れるよう配慮している。また、ソアには、それぞれ落ち着ける位置に着席していただけるよう配慮している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時には、使い慣れた物をお持ちいただけるようアナウンスしているが、馴染みの空間を作り上げるまでには到達がなされていない。安心できる空間作りが今後の課題となっている。 | 使い慣れた鏡台を持ち込む際には耐震用具を取り付けてくださったり、位牌や遺影、籐椅子が持ち込まれていたりと、家族が「馴染んだもの…」と苦心したことが伝わる居室がある一方で、持ち込みが少ない部屋もあり、その人それぞれです。 | 「何でも剥がす、壊してしまう」といった症状の人は別として、家族の協力が少ない利用者については、此処での暮らしを通じてのもの(レク作品等)で、その人らしい居室となるとなおります。 |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室の入り口には、ご本人の目線に合わせ表札を設置している。また、日々の気づきより危険と思われる場所には配置を見直し、その方がどこまで理解がなされているか把握し、自立した生活が営めるよう努めている。 | | |

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2297200152 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム浜松根洗 | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市北区根洗町738-2 | | |
| 自己評価作成日 | 平成29年6月30日 | 評価結果市町村受理日 | 平成29年7月26日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2016_022_kami=true&JigyosyoCd=2297200152-00&PrefCd=22&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 平成29年7月11日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の穏やかな生活を送っていただく為に、その方のお気持ちに寄り添いながら、ご利用者様の力を最大限生かせるよう支援しています。また、自立や介護予防に前向きに取り組み、入居後には生活・身体レベルの向上や、周辺症状の緩和へと繋がり、介護度が軽度になられた方が多くいらっしゃいます。医療面では、かかりつけ医を選択していただく事で、健康管理が行き届き、ホームでの看取りも可能となり終の棲家として一歩を踏み出しました。7月からは健康サロンの開催を予定しており、地域へ貢献するとともに、地域住民の方とのつながりを深め、地域に根ざした事業所を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

初詣、花見、いちご狩り、うなぎパイ工場、納涼祭、根洗神社の秋祭り、フラワーパーク、回転寿司、芋ほり収穫祭、クリスマス会、園児交流会etc.と年間行事が目白押しで、廊下に連なる思い出写真には笑顔が躍っています。2階はそれぞれが意思をもった動きと居場所を確保していて、1階は「一緒にいる、おこなう」が自然に成り立っていて、それぞれに特徴はありながらも「利用者がその人らしく、ありのままに」暮らせていることが表情や言動から伝わります。車いすの利用者も「2」となり颯爽と自走するに至るほど、立てつづけに介護度が上がる状況が続いていることが、「観察と寄り添いによる生活リズムの調整チカラ」を裏付けています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念は朝礼時に唱和し、毎日の行動指針として取り組んでいる。穏やかな生活を営んでいただけるようご利用者の言葉や行動の裏には、どんな思いがあるのか創造し、考える姿勢を身に着けるよう促し、実践している。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 散歩時には、近隣の方とあいさつも気軽にかかわされ、地域交流委員会を中心に、近隣の施設や学校、幼稚園とのつながりも定着してきている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域包括支援センターが主催する情報交換会での支援の取り組みの様子をお伝えしている。また、今後健康サロンとして、地域住民の方を施設へと招き、その中で認知症の方の理解を深めていただきたいと考えています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 活動報告や支援の様子をご報告させていただいている。水災害時の対応に対しても、地域の方からのアドバイスをいただき、水害時の避難計画にも反映させていただいた。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 行政が主催する北区事業者情報交換会に出席し、情報収集に努め、運営推進会議を通じて事業所の取り組みをお伝えしている。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束や虐待防止に向け、3か月に一度研修を行っている。日頃の支援の中で、身体拘束と考えられる行為はないか振り返り、話し合いを行っている。玄関を施錠はされていないが、施錠をすることでご利用者に与える影響について、理解を深めるよう努めている。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 年間の研修の中で、学習している。2か月に一度、身体拘束や虐待・不適切なケアが行われていないか、チェックシートを用い確認している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 年間の研修の中で、学習している。実際に活用をされている方や、ご家族様からご相談をいただいたこともあった。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約締結時には、時間をかけてゆっくりとわかりやすいよう説明している。読み合わせや都度、疑問点を尋ね、納得していただいた上で締結している。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年に一度ご家族様に向け事業所での取り組みを評価するアンケートを実施している。そのご意見をもとに課題を抽出し、改善へ向け取り組んでいる。また、ご家族様来訪時には、管理者やユニットリーダーなど、会話する機会を持ち、意見や要望の収集に努めている | | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員の意見や提案に耳を傾け、実践のに向けてサポートをしている。また、年1回スタッフに向けたアンケートを実施し、意見をもとに課題を抽出し改善に向けて取り組んでいる。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 面談を通じて、個々の目標の把握や、自身の持ち味を生かし、やりがいに繋げていくことができるよう努めている。また、業務を見直し労働環境の改善に努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新卒・大卒の職員へは、本社教育研修課の研修を受け、1年後、3年後の研修も実施されている。中途採用の職員へは、内部研修を実施している。法人外の研修の機会が少ない為、今後の課題となっている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 職員が同業者と交流する機会は、近隣の施設の夏祭りに参加することとどまっている。今後相互訪問の機会を持ち、サービスの質の向上に努めたい。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービス導入時には、情報をもとに1日でも早く環境に慣れていただけるよう、不安な事はないか気を配り安心して過ごせるよう関わりを多く持つよう努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様の要望や、今までのご利用者様の様子を耳を傾け、ご家族様が気兼ねなく相談しやすい雰囲気、関係作りに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 初期においては、まず環境に慣れていただく事に重点を置くと共に、その方の生活リズムに添いながら、安全面にも配慮している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 生活の場として、ご利用者様が主体である考えを持ち、その方の能力が最大限に生かせるよう支援方法を模索している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様の思いを受け止め、一緒に課題に向き合っていたりけるよう支援方法を相談させていただき、プランへと反映させていただいている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人様の言動から、馴染みの場所へのが外出やドライブへとお誘いし、思い出の場所が身近に感じていただけるよう努めている。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 共用スペースでの座席や、ソファでの着席の際には、ご利用者様同士が自然と会話を交わされ、活動に参加していただけるよう、ご利用者様の個性にも配慮している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去された方へは、ご面会に伺わせていただいたり、退去後ご逝去され、ご利用者様のご家族様から、ご連絡をいただくことが多く、葬儀に参列し最後のお別れをさせていただいている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | お一人ひとりとのコミュニケーションを通じ、さりげなくその方の希望や意欲を引き出せるよう努めている。困難な方の場合は、その方の現状の把握に努め、ご家族様にご意向をうかがい、ご本人を主体として検討している。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時には、フェイスシート・アセスメントシートを活用し、入居後にはサービス実施記録を活用し、その方の暮らしを把握するよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | その方の認知面・身体面の把握に努め、その方に応じた過ごし方・活動へとお誘いしている。ご本人が得意な事に着目し、継続できるようサポートしている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 話合いの場に、ご本人様に出席していただく事は難しいが、ご家族様には面会時や電話にて、ご意向をうかがっている。スタッフによるモニタリングや主治医の指導を反映し、介護計画作りに努めている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 午前・午後に担当スタッフを分担し、細かく記録している。普段と比較し大きな変化がみられる時は特記事項として記録している。日報においては、即時対応が必要な事項については、別途記載し情報の共有を図ると共に、ケアプランの見直しに反映させている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人様やご家族様の希望、新たなニーズが生まれた場合、現状や実施可能かを検討し、その方の生活の質の向上や自立の為に取り組めるよう努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | その方に合わせた地域資源の活用を実践している。社協が開催する講座に参加したり、近隣の障害者施設が運営するカフェに出かけるなど、豊かな暮らしへと繋げている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 従来の往診医に加え、訪問診療を取り入れ、ご家族様が希望する医療に添えるよう、かかりつけ医を選択していただいている。医師と連携を密に図り、必要であれば、総合病院への受診や、専門の機関への受診へと繋げている。 | | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週1回の訪問看護師による健康管理を行い、介護職も日々の気づきを伝え、看護師からの異常の懸念がある時は、医師へと報告し、指示を仰いでいる。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病状の説明の際には、管理者が同席させていただき、早期にホームでの生活が可能となるようご家族様や相談員との連携を図っている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 訪問診療を導入した事により、終末期において、ホームでの看取りも可能となっている。重度化が顕著な場合は、早期にご家族様のご意向を確認・相談し、あらゆるパターンを想定しながら、ご本人様やご家族様が希望する終末期を迎えられるよう取り組んでいる。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時や事故発生時の対応を研修に取り入れ、周知を図っている。消防によるAEDの使用法の指導を受け、訓練を実施している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 近隣の施設や、地域の方に防災訓練へと参加していただき、協力を得られるよう関係を構築できるよう努めている。地域の方より、災害時は施設を避難場所として開放して欲しいとの要望も受けている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 人生の先輩として、尊厳をもった関わりや言葉を用いるよう努めている。コミュニケーションを図るうえで、親し気な話かけが適切と思われる場面では、失礼のない範囲で用いている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | コミュニケーションを通して、思いや希望が表出できるよう努めている。また、その方の行動や仕草・表情から思いをくみ取れるよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | お一人ひとりの一日の生活の流れを把握し、ペースに合わせた生活支援を実施している。声かけの際は、選択肢のある伝え方に努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご希望の衣服を選んでいただけるよう努めている。困難な方には、その人らしいおしゃれをしていただけるよう職員が選択している。ヘアブラシや電動シェーバー等は、ご利用者様から目に入る場所へと設置し、自然に手に取っていただけるよう環境にも配慮している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | その方の残存機能や能力に応じた食事準備や片付けの依頼をしている。さりげなく見守りの中、安全に自己完結へと繋げられるようサポートし、やりがいや喜びを感じていただけるよう支援している。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 適切な食量・食事形態・残存能力のに応じて、必要な栄養を摂取していただけるようサポートしている。また、水分量も好みに応じて工夫し、必要摂取量に到達するよう努めている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを実施することは困難だが、就寝前には、その方に応じた方法で口腔ケアを実践している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | その方の排泄パターンや習慣、行動や仕草に着目し羞恥心に配慮したトイレ誘導をしている。パットやリハビリパンツの必要性も常に検討し、定期的に誘導することで、対応可能な場合はパットやリハビリパンツの使用を中止し、自立した排泄を促している。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分摂取の少ない方には、お好みの飲み物をこまめに提供することで水分量の増量に努め、散歩や廊下歩行にて運動量の増加にも努めている。困難な際は必要に応じて下剤を使用している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ご希望やご本人様のタイミングに合わせて入浴していただけるよう努めている。職員が決めさせていただいた場合は、選択肢のある声かけでタイミングや時間帯が希望に添えるよう努めている。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 就寝時間や入床に至るまでの一連の流れを把握し、安心して入眠していただけるよう努めている。眠れないご様子が窺える時は、ゆっくりと寄り添い傾聴し、安眠へと繋げている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の目的や副作用・注意点について理解に努め、用法・用量・指示を遵守している。服薬支援はマニュアルに従い介助し、内服薬変更の際は状態の変化を注意深く観察し、異変と思われる症状がみられる際は、主治医へ指示を仰いでいる。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 残存能力や生活歴から、やりがいを感じていただけるよう役割分担をしている。個別の嗜好品の提供や外出・ドライブなど、気分転換をしていただけるよう努めている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 選択肢のある声かけにて、散歩のお誘いを行っている。普段出かける事がないような場所へ、2か月に一度程度の頻度で外出できるよう努めている。また、ご家族様のご協力いただき、季節の応じた花々や紅葉を楽しめる方もいらっしゃいます。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご自身での金銭管理が困難な為、ほとんどの方が施設にて管理している。ご利用者様の中には、自身の財布を持たれ、受診時にはその財布から支払われることもある。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族様の希望もあり、定期的に電話でのやり取りをされている方もいる。年末には、年賀状をご家族様宛に書いていただいたり、困難な方には、職員が代筆し、お気持ちがお伝えできるよう支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有スペースには、ご利用者様の季節に応じて制作された作品を掲示し、季節感や充実感を感じていただいたり、意欲を引き出すきっかけ作りにも繋がっている。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 座席の配置など、ご利用者様同士が調和を図れるよう配慮している。また、ソアには、それぞれ落ち着ける位置に着席していただけるよう配慮している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時には、使い慣れた物をお持ちいただけるようアナウンスしているが、馴染みの空間を作り上げるまでには到達がなされていない。安心できる空間作りが今後の課題となっている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室の入り口には、ご本人の目線に合わせ表札を設置している。また、日々の気づきより危険と思われる場所には配置を見直し、その方がどこまで理解がなされているか把握し、自立した生活が営めるよう努めている。 | | |